

一般質問通告書

令和 8年 1月15日

議会議長様

議席番号 13 番

議員氏名 伊藤美佐子

質問事項	質問要旨	指定答弁者
1. わが町の災害時の支援は	<p>最近は自然災害や不慮の災害が頻繁に発生しております。杉戸町では各避難所で避難所開設訓練を実施し、災害対応に備蓄品の備えや住民への周知に取り組まれております。全国の自治体でも同様に進んでおりますが、担当者の方々の努力にも感謝致します。</p> <p>災害対策においては、住民との連携が求められている点も重要であり、現状を踏まえると課題があるのではないかと考えます。また、火災も頻繁に発生しております。火災は一瞬ですべてを失うという特殊性があります。</p> <p>杉戸町においては、様々な災害対応の協定は進んでおりますが、火災発生時における住民への対応と、災害時の住民連携について、以下伺います。</p> <p>(1) 火災等の被災者対応においては、事前に支援対策を構築しておくことが重要と考える。そこで、火災発生時における対応と生活支援の対策について伺う。</p> <p>①火災発生時に、現場では住民へどのような対応がされているのか。</p> <p>②火災で住宅を焼失された方への住まい等の支援策は。</p> <p>③焼失された家屋の解体など、住民への支援は。</p> <p>④昨年、大分県大分市において発生した火災では、空き家が多く大きな火災になった要因でもあると報道されていたが、わが町の空き家の対策はどのように進んでいるのか。</p>	町長 副町長 危機管理課長 福祉課長 担当課長

1月15日 午前・午後 1時00分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
2. 町長の公約は	<p>(2) 災害時の住民連携と周知について。</p> <p>①町では防災士の育成を図っている。防災士の現状と自主防災組織における役割は明確になっているのか。</p> <p>②避難所開設訓練において、開設までの準備について住民への周知方法はどのように考えているのか。</p> <p>③避難所開設訓練を通して、在宅避難の考え方を周知すべきでは。</p> <p>④災害に対し日頃の備えをどのように周知すべきと考えているのか。</p> <p>窪田町長の任期はあと半年余りとなります。窪田町長と私は、政治に携わったのが同期であります。私は、住民の皆様より支援を頂いて町議となり、町民の皆さんに何ができるか、杉戸に住んで良かったと言ってもらえる町を目指して議員として働いてきました。</p> <p>以下の二点は町長の公約にもあり、私も住民の皆様より要望を頂いている事業であります。町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 小中学校の給食費の無償化は段階的に進めるとしていたが、現在は令和5年1月分から第3子以降の実施で終わっており、今後は国からの支援体制で実施する考えなのか。</p> <p>(2) 下野久喜線整備事業について、長年にわたり町長が進めてきた事業であるが、筆界未定地が発覚してから町長はどのような対応をしているのか。また、今後この事業をどう進めていくのか。</p>	町長